



「僕は4つだよ(^_^)。
私2つですー仲良しです」
かなやままさき
金山真生ちゃん・愛ちゃん
H13.12.13生 H15.4.23生
(笠岡)



「いここです。2人共元気に
すくすく育ってください」
おがわわかな
小川和可奈ちゃん・河田天優ちゃん
H16.10.19生 H16.9.25生
(笠岡) (北木島町)



「我が家の大切な大切な
宝物です。」

いまじょう しゅうと
今城 秀斗ちゃん (笠岡)
H16.2.20生



「お散歩と歌うことが
大好きです」
じゅし なお
地主 菜央ちゃん (笠岡)
H15.9.2生



「いたづら大好き娘」
いけだ ふうな
池田 風那ちゃん (十一番町)
H15.6.10生

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

展覧会と行事のご案内

はし・ちつきょう
特別展<竹喬>時代の竹喬
～11月27日(日)
竹喬の画業のうち、前半期に描かれた作品がもつ覇気をご覧ください。

2006年
小野竹喬カレンダー
新収蔵の素描を中心とした来年度のカレンダーが完成しました。
1部1200円です。
お問い合わせは竹喬美術館まで。

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

昭和三十一年八月十八日から二十二日にかけて竹喬は立山を訪れている。宿をとった地獄谷と呼ばれる辺りは有毒な火山ガスや水蒸気が噴出し、荒涼とした景色が広がっている。砂地の急勾配を、ときどき尻をつけながら下ったと後に述べている。月の光をうけて、立山連峰が濃い影となつて浮かび上がっている。周囲に連なる高い山々の間で、沸きたつ雲もゆつたり動いてゆくようだ。この静かで神々しい景色を前に、竹喬はただ眺めていることができず、わずかな明かりを頼りに絵筆を動かした。



高山の月 小野竹喬 作
昭和31(1956)年
27.4×45.6cm

「立山の地獄谷に泊ったときである。夜になって月が美しくいと云う息子の声に、表にならびだして見ると、ほんとに何とも云えない雄大な美しくさであった。手元がまっ暗なので、ライトの光りでスケッチした。」
(竹喬のことば)

竹喬美術館の光彩 34



発行日/平成17年10月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2114

印刷/アドハウス ☎66-4670

係から

先に開催された「晴れの国おかやま国体」の夏季大会では、岡山県が総合第二位と好成績を収めました。この波に乗って秋季大会でも、大活躍を見せてほしいものです。今月号でも紹介していますが、郷土の選手たちにも期待しましょう。
そして、市内でも民泊協会をはじめ市民協力員などたくさんの方からご協力をいただいています。みんなの力で国体を成功させましょう！
(向)

今月の表紙

9月25日、神島外浦の伝統行事「奴行列」が行われました。十二人の奴は、ちよんまげのかつらをかぶり、顔を白く塗ってたくましいひげ姿。天狗のお面をつけた露払いに先導され、神島外浦港から神島神社まで手を水平にしながら練り歩く奴を、一目見ようとたくさんの人たちが訪れていました。

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています